第 75 号　　平成 30 年 3 月 1 日発行

http://mitaka-schools.jp/ohsawa/index.html おおさわ学園 HP から「地域・家庭」タグをクリック！

# おおさわ学園コミュニティ・スクールだより

～学園と保護者と地域の連携を深めるために～

おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会/会長　倉田　清子

## 特集　～学園アンケートなどから見えてきたもの～

おおさわ学園 CS キャラクター　『さわっち』

## CS の輪が膨らんだ！

おおさわ学園学園長　　第七中学校校長　川戸　直美

ついつい夢中になって、平昌オリンピックをライブで、録画で、見ました。4 年前のソチオリンピックで一つもメダルが取れず悔しさの中から再起を誓ったスケート種目の選手たち。4年間、ひたすら練習を積んで、代表となり、オリンピックを目指しました。平昌で輝くメダルを手にした気持ちは、いかばかりだったでしょうか。

2016 年、リオ・オリンピック女子 200m平泳ぎゴールドメダリスト金藤理絵さんの初めての五輪出場は、2009 年の北京 7 位でした。次のロンドンをめざし練習を積み、良い感触を得たさなか、腰を痛め、不安から練習に臆病になってしまい、本命だったロンドン五輪を逃します。やらされている意識が結果にも出ていたのです。2015 年の世界水泳をきっかけに自らがやる水泳に代わり、厳しい練習が始まります。そして自分が一か所に踏みとどまり足を上げ続けていたら、コーチや仲間が手を引っ張ってくれ、応援してくれる人たちが後ろから背中を押してくれたと言います。その時は何も気づかなかった彼女はそのことに後から気づきます。遠回りしたけれども、挫折を乗り越えられたのも多くの人の応援があったからです。

私たち CS 委員の活動もまさに金藤選手を応援するコーチや周りの人と同じです。これからの時代を担う子どもたちをいろいろな側面から育て、育んでいく応援団だと思っています。少し違うところは、応援の中に「支援」も含まれることです。黙って背中を押す時もあれば、一緒に寄り添って行動することもある！それがコミュニティ・スクール、それに携わっているのが委員、そして多くのサポートのみなさん。今年度は、より豊かな学びや支援を目指し、地域の方々・教師・CS 委員との協議も行われ、ますます充実と向上のコミュニティ・スクールになっているのを肌で感じています。

**【みたか学校支援者養成講座にて、おおさわ学園が発表しました】**

2/10(土)、「みたか学校支援者養成講座」が、三鷹ネットワーク大学で行われ、おおさわ学園、連雀学園、三鷹の森学園の３学園が、それぞれの CS 活動について発表をしました。

おおさわ学園は、子どもたちの学習支援について発表しました。

## 評価部会

11 月、12 月の CS 委員会では、学園研究結果や学園アンケート結果の報告を受け、子どもたちの様子や学校の取り組みについて意見交換を行いました（特集参照）。子どもと関わる活動をしてくださっている地域の方からの声にも、毎年注目しています。

地域の方からは、素直で元気なよい子たち、との声が多くありました。子ども同士のトラブルを自分たちで解決する頼もしさも見られるというご意見をいただく一方で、交通マナーや言葉の暴力について、とても心配されている声もありました。大人が期待しすぎて辛い思いをする子どもがいないか、のびのびできていないことはないかというようなご指摘も。

数字だけからは見えてこない子どもたちをめぐるあれこれ。学校、家庭、地域が一緒に考えるきっかけになる学校評価活動の応援ができたらと思います。

## コーディネート部会

今年度も学校からのサポート依頼に応じて、たくさんの保護者や地域の方から『子どもたちの学び』へのご支援をいただき、ありがとうございました。

大沢台小、羽沢小では、ミシン作業補助サポートや調理実習補助サポートなどの定番のものから、大沢台小の朝学習時間の全クラスで行われる読み聞かせや羽沢小のなわとびの跳んだ回数数えなど、それぞれ特色あるサポート活動も定着してきています。

- １月２３日(火)に羽沢小にて、「教育ボランティア養成講座」が開催されました。おおさわ学園三校や大沢コミセンでお知らせしたところ、地域の方や各校から日頃サポート隊活動をされている方々、これから始めてみようと思われている方などがご参加くださり、授業ボランティアの留意点や意義を話し合いました。

## 広報部会

今年度も３回の CS だよりを発行することができました。HP も、さらに充実を図り、CS の情報をより早くお伝えすることができるよう努力していきます。

**おおさわ学園のホームページ**　http://mitaka-schools.jp/ohsawa/index.html

### おおさわ学園 CS 古本リサイクル今年度のご報告

おおさわ学園CS委員会
CS古本リサイクル
子どもたちにもっと本を！

今年度の寄贈本代は 18660 円（一校あたり 6220 円）でした。
ご協力くださったみなさん、ありがとうございました。
CS 古本リサイクル活動は年間を通して行っています。
ご不要の本がありましたら、三校の図書館にお持ちください。
いただいた本は学級文庫で活用したり、古本市を開催して売り上げを寄贈本代にしたりしています。学校図書館は、土曜日の午前中に地域開放しています。コミュニティ紙「おおさわ」で開館日をご確認ください。保護者、地域のみなさん、子どもたちが大好きな図書館をのぞいてみませんか。